

# 委員会町内視察レポート

## 総務文教常任委員会

### 1. 視察の概要

#### (1) 実施日

令和3年7月7日(水)

#### (2) 調査目的

町内の支所・出張所の現状機能等について調査を行うとともに、学校でのGIGAスクール事業の現状把握を行う。

#### (3) 調査の経過

①中津支所・美山支所及び寒川出張所を視察し、現状機能について資料提示と概要説明を受けた。

②山野小学校にて、GIGAスクール事業に係るタブレット端末を活用した授業を参観した。

#### (4) 調査の結果と意見

#### 【支所・出張所】

#### ○寒川出張所

職員は1名であるが、寒川診療所と併設となっている。

主な業務は、戸籍住民票関連・印鑑証明・税務証明・火葬認許等となっているが、地域住民の要望などを本町担当課への取次も行っている。

手数料等の公金扱い額は、過去4年平均で、約138万3千円、263件程度となっている。

普段の業務においての支障は少ないが、職員の休暇等に関しては、1名であることから併設の寒川診療所の事務職員を補充することでカバーしている。しかし、災害や避難が生じた場合には、対応が遅れないか心配である。



美山支所

#### ○美山支所

美山地域振興課7名、林業振興課8名であり、支所管理施設は、保健福祉センター、上初湯川ふれあいの家、美山漕艇場となっている。

美山地区全域を管轄している、主な業務は

寒川出張所と同様であるが、対応件数は約6倍となっている。

また、ここには寒川地区水道、愛徳地区水道、丸山地区水道の集中制御システムが配備されており、水道管理の業務も頻繁に行われている。

手数料等の公金扱い額は、過去4年平均で、約103万6千円、1643件程度となっている。

美山地域振興課としての管轄エリアが広大であり、山間部の谷沿いに集落があるため、対応が心配である。これには、日頃から支所と各区の意思疎通を図っておく必要がある。

#### ○中津支所

中津地域振興課8名、地籍調査室5名、道路整備員(川辺・中津・美山各2名の6名)であり、支所管理施設は、健康管理センターとなっている。

中津地区全域を管轄している、主な業務は美山支所と同様である。健康管理センターは、中津地区住民により多種多様な活用が行われている。

手数料等の公金扱い



中津支所

額は、令和2年実績で1440万6千円、2244件となっている。支所施設は、平成29年5月より業務開始しているが、旧館との間が雨天時に雨が吹き込むので対策が必要である。

また、地域の要望として観音寺橋交差点の安全対策を求められている。ここは以前からの要望で、対策として赤色回転灯を設置したが、通学の安全確保のため、早急な今後の対策が必要である。

### 【山野小学校】

山野小学校の5・6年生の複式学級での国語授業を視察した。

5年生が3人で、重松清著のカラーライスを題材に電子教科書を使っていた。自動読み上げ機能をつかってイヤホンで聞いて、その本の感動した部分と本の紹介文をタブレットで作成していた。

6年生は5人で、事前に自分が選書した本を読み、その本の紹介と読みどころを原稿用紙に書いたものを前で発表し、その発表についての評価をタブレットで作成していた。複式授業であることから、授業の難しさを感じた。

ソフトは、ウインドウズの Teams を活用して行っていた。キーボードを打つ際の指の使い方が、両手の児童も居れば指一本で打



山野小学校

つ児童もいたので、基本的な指の使い方は教える必要もある。

次に、タブレットと目の距離が近いので、将来的に視力に何らかの影響が出る可能性がある。活用ガイドライン等が示されて、先生や子供たちへの心身の

健康管理をしっかりと行うべきだと感じた。

教育の基点がタブレットではなく、タブレットはあくまで道具として捉える必要がある。教師側が、授業においてタブレットに安易に頼らないという意識を持つことも必要で

ある。  
また、タブレット活用で各校に活用格差が出ないように、教育委員会の指導は重要である。

始まったばかりだが、教育委員会と学校の更なる知識強化と研究が重要である。今後の取り組みを注視していきたい。

